



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社アルゴグラフィックス 上場取引所 東
コード番号 7595 URL <https://corp.argo-graph.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 藤澤 義麿
執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 長谷部 邦雄 TEL 03-5641-2018
管理本部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,943	1.1	2,295	△6.0	2,405	△6.7	1,430	△13.6
2026年3月期第1四半期	16,755	△6.9	2,442	△14.2	2,579	△14.2	1,655	△17.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,844百万円(△7.6%) 2026年3月期第1四半期 3,077百万円(△13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	20.82	—
2026年3月期第1四半期	19.42	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	73,371	49,908	64.5	688.19
2026年3月期	80,966	51,378	60.3	710.03

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 47,297百万円 2026年3月期 48,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
	—	80.00	—	60.00	—
2026年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	32.00	—	33.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1 当社は、2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期1株当たり期末配当金につきましては当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、1株当たり年間配当金合計は「—」としております。

2 2026年3月期期末配当額は、特別配当40円00銭を含んでおります。

3 2027年3月期年間配当額(予想)は、特別配当20円00銭(中間配当10円00銭、期末配当10円00銭)を含んでおります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 72,600	% 1.5	百万円 10,300	% △4.1	百万円 10,600	% △7.2	百万円 7,200	% △62.5	円 銭 104.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社（社名） 、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っております。詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	80,000,000株	2026年3月期	80,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	11,273,308株	2026年3月期	11,287,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	68,724,125株	2026年3月期1Q	85,230,092株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(表示方法の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エネルギー価格上昇や円安などによるインフレ圧力が強まりました。当社の主要顧客である自動車業界は、米国では底堅い需要が見られたものの、中国EVメーカーの台頭やトランプ関税をはじめとする米国の通商政策の影響により、事業環境は総じて慎重な状況で推移いたしました。また半導体業界については、世界的なAI需要の高まりを背景に引き続き活発な投資が行われております。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は16,943百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益は2,295百万円(同6.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては1,430百万円(同13.6%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、半導体業界向けビジネスが堅調を維持し、外部顧客への売上高は16,241百万円(前年同四半期比0.4%増)と増収となりました。一方、セールスマックスの変化や一部の仕入遅延の影響に加え、将来の成長を見据えた人材投資の継続により、セグメント利益は2,037百万円(同12.6%減)となりました。

連結子会社である株式会社ジーダットが中心となって行うEDA事業につきましては、自社製品の大型受注等が寄与し、外部顧客への売上高は702百万円(前年同四半期比19.7%増)、セグメント利益は257百万円(同130.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ7,594百万円減少し、73,371百万円となりました。

(資産)

流動資産は、現金及び預金が4,112百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が5,695百万円減少、電子記録債権が194百万円減少、有価証券が500百万円増加、商品が1,533百万円増加、仕掛品が110百万円減少、その他が715百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比8,794百万円減の51,350百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が93百万円減少、無形固定資産が18百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が1,357百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比1,200百万円増の22,021百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金が1,281百万円減少、未払法人税等が6,307百万円減少、賞与引当金が353百万円減少、役員賞与引当金が94百万円減少、その他が996百万円増加したことにより、前連結会計年度末比7,039百万円減の18,677百万円となりました。

固定負債は、株式給付引当金が12百万円増加、その他が895百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比914百万円増の4,784百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比6,124百万円減の23,462百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が2,810百万円減少、その他有価証券評価差額金が1,315百万円増加、退職給付に係る調整累計額が17百万円増加、為替換算調整勘定が21百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比1,469百万円減の49,908百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,549,021	28,436,173
受取手形、売掛金及び契約資産	20,898,979	15,203,175
電子記録債権	1,421,988	1,227,687
有価証券	—	500,000
商品	2,282,890	3,816,575
仕掛品	352,538	242,187
原材料及び貯蔵品	1,298	1,289
その他	2,638,123	1,922,994
流動資産合計	60,144,840	51,350,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,634,792	3,765,995
減価償却累計額	△93,666	△143,453
建物及び構築物（純額）	3,541,126	3,622,542
機械装置及び工具器具備品	2,230,607	2,287,010
減価償却累計額	△485,272	△552,108
機械装置及び工具器具備品（純額）	1,745,335	1,734,902
土地	156,186	156,186
建設仮勘定	158,605	—
その他	120,918	118,583
減価償却累計額	△53,108	△56,491
その他（純額）	67,810	62,092
有形固定資産合計	5,669,063	5,575,723
無形固定資産		
のれん	243,514	229,841
その他	51,199	46,046
無形固定資産合計	294,713	275,888
投資その他の資産		
投資有価証券	12,729,348	14,087,145
長期預金	900,000	900,000
その他	1,228,551	1,183,031
投資その他の資産合計	14,857,900	16,170,176
固定資産合計	20,821,677	22,021,788
資産合計	80,966,517	73,371,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,555,303	12,273,989
未払法人税等	6,817,807	510,169
賞与引当金	849,733	496,688
役員賞与引当金	119,000	24,999
その他	4,376,000	5,372,148
流動負債合計	25,717,845	18,677,994
固定負債		
退職給付に係る負債	3,084,608	3,085,377
株式給付引当金	528,413	540,584
役員株式給付引当金	151,912	158,119
その他	105,024	1,000,798
固定負債合計	3,869,957	4,784,879
負債合計	29,587,803	23,462,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,873,136	1,873,136
資本剰余金	2,044,255	2,044,255
利益剰余金	51,540,488	48,730,483
自己株式	△10,288,775	△10,281,368
株主資本合計	45,169,104	42,366,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,888,868	4,204,380
退職給付に係る調整累計額	234,307	251,809
為替換算調整勘定	495,646	474,585
その他の包括利益累計額合計	3,618,822	4,930,775
非支配株主持分	2,590,787	2,611,717
純資産合計	51,378,714	49,908,999
負債純資産合計	80,966,517	73,371,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,755,693	16,943,653
売上原価	12,388,337	12,625,791
売上総利益	4,367,355	4,317,861
販売費及び一般管理費	1,924,708	2,022,530
営業利益	2,442,647	2,295,330
営業外収益		
受取利息	21,995	17,810
受取配当金	144,120	70,299
持分法による投資利益	—	5,594
為替差益	—	3,226
その他	17,655	13,761
営業外収益合計	183,771	110,692
営業外費用		
持分法による投資損失	5,914	—
投資事業組合運用損	72	75
自己株式取得費用	38,097	—
その他	2,609	38
営業外費用合計	46,693	114
経常利益	2,579,725	2,405,908
特別損失		
投資有価証券評価損	15,000	—
特別損失合計	15,000	—
税金等調整前四半期純利益	2,564,725	2,405,908
法人税、住民税及び事業税	552,675	511,290
法人税等調整額	288,408	349,284
法人税等合計	841,084	860,574
四半期純利益	1,723,641	1,545,334
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,260	114,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,655,380	1,430,751

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,723,641	1,545,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,445,120	1,315,512
退職給付に係る調整額	21,997	17,501
為替換算調整勘定	△99,003	△39,950
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,983	6,032
その他の包括利益合計	1,354,131	1,299,095
四半期包括利益	3,077,772	2,844,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,045,641	2,742,705
非支配株主に係る四半期包括利益	32,131	101,724

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、有形固定資産における工具器具備品及びその他の減価償却方法として、従来、主に定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より主として定額法に変更しております。

当社グループでは、顧客によるサーバー機器等購入を前提とした従来型の販売モデルに加え、当社がサーバー機器等を保有し、顧客に対して月額利用料等により継続定期的にサービスを提供するマネージドサービス事業（PLM事業・PLMソリューション）の拡大が見込まれております。

マネージドサービスが当期より本格化することを契機に工具器具備品及びその他の減価償却方法を見直した結果、当該事業に使用するサーバー機器等は、契約期間及び耐用年数にわたり長期的かつ安定的に使用され、これらの資産から得られる経済的便益も、特定期間に偏ることなく、概ね均等に消費されると見込まれることから、定率法よりも定額法が使用実態をより適切に反映すると判断したため、減価償却方法を変更するものです。

この減価償却方法の変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は50,545千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は50,545千円増加しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「有形固定資産」の「その他」に含めて表示しておりました「機械装置及び工具器具備品」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、「有形固定資産」に表示していた「その他」2,351,525千円及び「その他（純額）」1,813,145千円は、「機械装置及び工具器具備品」2,230,607千円、「機械装置及び工具器具備品（純額）」1,745,335千円、「その他」120,918千円及び「その他（純額）」67,810千円として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額(注)
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,169,169	586,524	16,755,693	—	16,755,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	901	1,859	2,761	△2,761	—
計	16,170,070	588,384	16,758,455	△2,761	16,755,693
セグメント利益	2,331,034	111,612	2,442,647	—	2,442,647

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額(注)
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,241,398	702,254	16,943,653	—	16,943,653
セグメント間の内部売上高 又は振替高	912	300	1,212	△1,212	—
計	16,242,310	702,554	16,944,865	△1,212	16,943,653
セグメント利益	2,037,727	257,603	2,295,330	—	2,295,330

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

- 1 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	25,650千円	129,610千円
のれんの償却額	13,672	13,672

(重要な後発事象)

該当事項はありません。